

石巻 農業

担い手センター

「食べる」ということは、とても当たり前で身近なこと。しかし、その向こう側にいる「生産者」はなぜか遠い存在になりがちです。

ここ宮城県の食料自給率(※)は70%で、東京の1%と比べると豊かな地域です。しかし生産現場に目を向けると、高齢化による後継者不足、耕作放棄地増加などに直面し、変わりゆく環境に柔軟に対応していかなければなりません。つまり、地域が持つノウハウ、肥沃な大地を継承し持続可能とすることが求められているのです。

そのような中、明るい兆しとして職業選択のひとつに、地方での就農に関心を持つ若者が少しずつ増えつつあります。

私たち、石巻市農業担い手センターは2018年4月に活動を開始しました。

未来に向けて、農業の魅力を再発見し、共につなぐ人材を育てる役目を果たすべく、今わたしたちが見ている行っている「農」の取り組みをこの冊子を通して少しでもお伝えして、未来の仲間になっていただけたらうれしいです。

(※) 出展：農林水産省 平成29年度 食料自給率(カロリーベース)

目次

石巻について	p 2
石巻の農業	p 3
石巻の農作物	p 4
農ある暮らしの作り方	p 4
農家's VOICE	p 6
石巻農学	p 8
石巻百姓塾	p10
就農コンシェルジュ	p11

石巻

ISHINOMAKI CITY

Miyagi, Japan

人口 142,349人

世帯数 61,566戸

面積 554.55㎡

(2020年3月4日現在)

宮城第二の都市、石巻。東北地方の中でも夏は涼しく、冬は雪が少なく、過ごしやすい地域です。北上川の恵みと世界三大漁場・金華山沖を有する自然豊かな食の宝庫です。約400年前には江戸への米が、北上川の水運を活用して石巻に集められ、一大港町として栄えました。2011年には東日本大震災により甚大な被害を受けましたが、世界中からの支援のおかげ、そして元来地域が有する自然や人などの資源を最大限に生かし、復興への歩みを進めています。

石巻の農業



石巻は広大な耕地を有する県内でも有数の穀倉地帯です。比較的温暖な気候条件のなか、北上川の豊かな「かんがい用水」を活用した水稻栽培が基幹となっています。その他にも、施設野菜や花卉等の園芸作物に加え、肉用牛生産等の畜産経営を組み合わせたバランスのとれた高度な複合経営農業が展開されています。

そのような恵まれた土地で、特筆すべき農作物は、日常の食の基盤となる「米」。中でも、宮城生まれの米「ササニシキ」は石巻が日本一の生産量を誇ります。ササニシキは川に囲まれた地形や、肥沃な大地に

適し、魚食との相性も良いとされています。この米文化を残そうと、市内では誕生当初から変わらず農家の努力が続きます。

また、畜産の分野では全国的にも高評価の「茂洋」「勝洋」は、石巻の桃生町生まれの牛です。石巻の肉牛は、地元で栽培した「ササニシキ」「ひとめぼれ」などの良質な稲ワラや麦、とうもろこし類を中心とした飼料により、上質な肉牛へと丁寧に育てられます。

このように、石巻では恵まれた土壌を最大限に生かすべく、適した作物を見極め、土づくりをはじめ、収穫後の保管・運搬に

までその美味しさを最大限に引き出すための安心・安全を考えた取り組みが行われているのです。

県内生産量1位！

トマト、きゅうり、長ネギ、
ガーベラ、糸みつば

県内生産量2位！

いちご、ほうれん草、セリ、
スリムねぎ



出展：宮城県公式サイト「石巻地域の農業について」

石巻の農作物



トマト
ほうれんそう
スリムネギ
輪ぎく
ガーベラ
シクラメン

4	葉せり		イチゴ
5		きゅうり	
6			
7	スイートコーン		えだまめ
8			
9			
10	根せり		米
11		ちぢみほうれんそう	
12			
1			
2			イチゴ
3		きゅうり	

石巻の農家の今

人手

58%が不足

通年で不足：14%
繁忙期以外も：8%
繁忙期のみ：36%

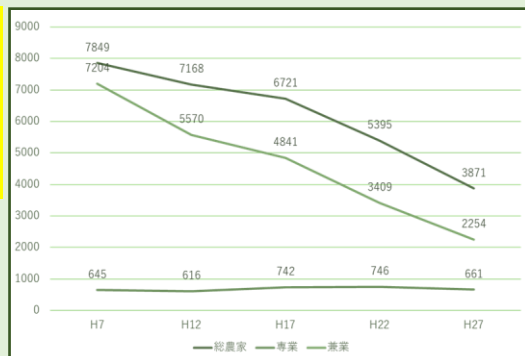
研修者の受け入れ

後継者あり：100% が受入希望

後継者なし：53% が受入希望

出展：令和5年石巻市内農業法人アンケート結果より（回答数22件）

農家数の推移



出展：農林業センサス

農ある暮らしの作り方

顔の見える
買い物がしたい



直売所で地元農家の作物を買ったり、農家から直接買えるオンラインショップをぜひ。

道の駅上品の郷
いしのまき元気いちば
ふれあい市場 菜花
やさいっ娘
ポケットマルシェ
食べチョク

農家さんって
どんなことを
考えてるの？



マルシェで対面販売を行う農家さんと話したり、石巻農学(p7)に参加して、実際に話を。

マルシェ
石巻農学
農園直売所

4

自分でも作物を
育ててみたい



庭やプランターでの家庭菜園や市民農園を活用してまずは好きなものを育ててみては。

石巻市の市民農園
一蛇田わくわく農園
一宝菜園

就農に興味は……
でも何から？



まずは、ぜひ石巻市農業担い手センターにご連絡ください！
独立？就職？何から始めたら？など、お気軽にご連絡ください！

☎ 0225-90-4748
✉ info@noukajapan.com

移住就農したいけどハードルが……



新しい地域でやっていけるのか？まずはお試し移住や、コストを押えられるシェアハウスに住みつつ知り合いを増やすのも◎

お試し農業移住 (p10)
シェアハウス (p10)

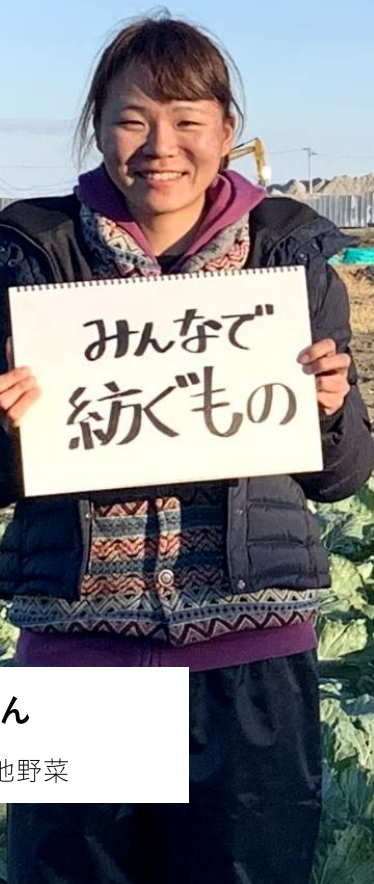
就農したいけど
まずは農業を
体験したい



就農や移住は実際に体験してみるのが一番！
自分は何がやりたいのか？合っているのか？プログラムを活用して見極めを！

石巻百姓塾 (p8)
短期農業アルバイト

5



平松希望さん

宮城県仙台市 露地野菜

就農のきっかけ

大学進学を機に仙台へ。現在、農業を営む仙台市荒浜地区との出会いは学生時代の復興・農業ボランティアでした。被災や農業従事者の高齢化などの課題により離農は進む一方。大学では農業経済を専攻していましたが、「農業を支援する仕組みがあっても、実際に農業をする人がいなければ意味がない!」と就農を決意。

就農して感じたこと

ボランティア時代に荒浜地区の方とつながりが出来ていたため、農地を借りる際に苦戦をする新規就農者も少なくないですが、私の場合ハードルは完全に地縁のない方よりは低かったと思います。

また、宮城県には新規就農者ネットワークがあり、新規就農者だったからこそその苦楽や知識の共有ができ、話が合う人が身近にいることは大きな支えです。

農業の楽しさ・難しさ

「良くも悪くも全てが現実だ!」と考えています。自分の思い通りに作物が育ち、収穫まで出来たときはとても嬉しいです。その反面、自然災害の影響も深刻で、2019年の台風では実際大きな被害を受けました。

地域への思い

震災を経て、地域の農家の方々が立ち上がる姿に感銘を受けました。大変な最中、県外から来た人を温かく迎え入れた人々たちです。なので、この荒浜地区を大切にしたいですし、被災地で土地を借りて農業をすることの重みも感じながら農業を営んでいます。

今後のビジョン

幸運にも荒浜地区の集団移転跡地を借りることができました。自ら農業を営みながら、農業を多面的に考え取り組んでいきたいと思っています。

6



大場慶久さん

宮城県栗原市 レンコン農家

就農のきっかけ

幼い頃から実家の農業の手伝いや、伊豆沼での釣りを楽しみ自然に触れていました。中学時代から農業への関心があり、「農家の高齢化」も身近な課題として認識していたこともあり就農を決意。高校卒業後、日本農業経営大学校に進学し2年間専門知識を学んだ後に親元就農をしました。

就農後に感じたこと

社会経験を積んでから、就農すれば良かったと思うことも。高校は普通科でしたが、実家は農家で、農業経営大学校に進学しました。なので、農業以外の知識やスキルを身に付けていないんです。また、自己資金がもっと必要だったなと感じています。農業次世代型人材投資資金を活用していますが、欲しい資材や機械の購入はまだ厳しいのが現状です。

農業の楽しさ・難しさ

「自然と常に触れ合えること」は魅力です。例えば、伊豆沼の夕焼けは子供のころから当たり前にあるものですが絶景です。サラリーマンと違って時間に融通が利くことも魅力かと思います。

一方、自然相手ゆえ、自然災害の被害に直接することは難しさですね。就農して3年、ベテラン農家との技術差を痛感することも少なくありません。

レンコン栽培のきっかけ

家業の水稻に加え、地域への思いもあり、地元の特産品であるレンコン栽培を決意しました。昭和57年に始まった歴史ある伊豆沼のレンコン。夏には沼の水面を蓮の花が彩ります。これらを未来に残していきたいと思うんです。

地域への想い

観光客は、年々減少傾向です。それでも伊豆沼を、この地域に魅力を感じ大切にしたいと思うので、伊豆沼レンコンを通してこの地を盛り上げたいんです。

7

石巻農学

「食べる・知る・つながる」

普段何気なく食べている野菜や果物、肉。部屋に飾っている花。分かっているつもりかもしれませんが、なかなか想像したり実感することのない「生産者」の存在。石巻農学では、宮城県内で農作物を生産する農家さんをゲストに、実際に育てられた作物を食べたりしながら、生産者の思いやリアルな現状を伺う時間です。農業に興味のある方はもちろん、「食えること」「一次産業」全般にご興味のある方、ぜひ！



座学で
知る

みんなで
調理

生産者に
会う

こんな人にオススメ

- 食えることが好き
- 生産者のことを知りたい
- 自分もいずれは家庭菜園や農業をしてみたい

これまでのゲスト (一部)

大場慶久さん

レンコン・米

(栗原市)



平松希望さん

露地野菜

(仙台市)



赤間祐子さん

米・ブルーベリー他

(石巻市)



結城翔太さん

リンゴ

(亶理町)



8

石巻百姓塾

「百のなりわい」を持つといわれる「百姓」という働き方、暮らし方。そのような存在を今の時代にあわせて再考し、農業の基本はもちろん、調味料づくりや狩猟、DIYなど、「農業」を軸に暮らしのスキルを磨いていきます。随時個別面談をしながら、ご自身のやりたい農業のスタイル、ライフスタイルを模索、構築していくプログラムです。

※農業次世代人材投資資金（準備型）を活用し担い手センターで研修を受けて頂く事業です。

【栽培作物例】：アスパラ・セリ・ホップ

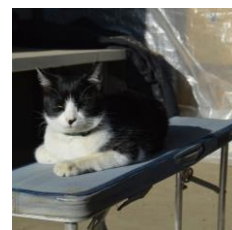
オーダー
メイド

農業
演習

就農/移住
相談

こんな人にオススメ

- 農のある暮らしをしてみたい
- 具体的な作物は未定だが就農を考えている



※農業次世代人材投資資金（準備型）概要

就農に向けて必要な技術等を習得するために研修を受ける方に対して、資金が交付されるものです。

対象者：就農予定時に49歳以下の方

交付額：研修期間1年あたり150万円 ※交付対象となる研修期間は最長2年間

交付要件：

1. 独立・自営就農又は雇用就農・親元就農を目指すこと
2. 都道府県が認めた研修機関等で概ね1年以上かつ概ね年間1200時間以上研修を受けること
3. 常勤の雇用契約を締結していないこと
4. 原則、前年の世帯（親子及び配偶者の範囲）所得が600万円以下であること
5. 研修中のけが等に備えて傷害保険に加入すること

注：2020年の概要です。常に最新のものをご確認ください

就農コンシェルジュ

「就農をする」とひとことで言っても、自身で農地を確保して独立/自営で行うのか？地域の農業法人へ就職するのか？スタイルは様々です。それによって必要な情報やスキルなども変わってきます。まずは、ざっくり就農までの流れを見て自分にあったスタイルを考えてみましょう！

石巻市農業担い手センターに問合せ

就農フェアに参加する

【農業体験・基礎知識の収集】
石巻農学／石巻百姓塾／お試し農業移住ほか各種等

【就農イメージの具体化】

【技術の習得】

独立/自営
就農

農業
法人へ
就職

【資金の確保】

【農地・住宅の確保】

【機械・施設の確保】

【営農計画を作成】
生産/販売/資金計画を明確に

農業スタート

【求人情報の収集】

【会社見学・体験入社・応募など】

就職先を選ぶ際には、仕事内容や給与以外にも「社会保障」や「就業条件」その他、加工や販売などを行っている場合は農作業以外の業務に関わることも。何があるか、やりたいか考えて選びましょう。

農業法人等へ就職

農作業に従事できる労働力と栽培作物の種類、面積規模、栽培方法等がマッチングしているか考えましょう

就農コンシェルジュ

就農へのきっかけは人それぞれ。ゆえに、就農後のステップも人それぞれ異なることは当然です。石巻市農業担い手センターでは、それぞれに合わせた就農プランを伴走しながらつくって行きます。

ご希望の就農スタイルはもちろん、住む場所や暮らし方なども、関係機関と連携しながら総合的に伴走していきます。

- 就農相談窓口（就農に関する相談・アドバイス等）
- 移住情報の提供（空き家、生活等に関する情報のご提供）



シェアハウス

石巻市農業担い手センターでは、現在2か所のシェアハウスを運営しています。

新たな土地での新生活。少しでもハードルを低くするために、資金的な負担、仲間のいる暮らしのご提案をシェアハウスを通して行っています。

家賃：18,000円/月 共益費：5,000円/月

●KITAKAMI BASE：石巻市の北部、北上町の橋浦地区にあるシェアハウスです。稲作やハウス栽培を行う農業法人へも車ですぐの距離。担い手センター事務所も近く気軽に相談可能です。

●MONO BASE：石巻市の北西部、桃生町の橋浦地区にあるシェアハウスです。築100年をこえる古民家をリノベーションした趣ある一軒家です。近くにドラッグストア、飲食店、クリニックなどもあり、利便性の良い物件です。



お試し農業移住

シェアハウスや石巻市農業担い手センターの拠点Village AOYAに宿泊しながら、数日からのお試し移住が可能です。実際に就農体験をしてみたり、先輩移住者との出会いや短期間でも暮らし试着くことで、地域やどんな農業と相性がいいか？どんな就農スタイル、ライフスタイルを目指すのか？を具体的に検討することができます。



石巻 農業

～ 石巻市の未来 ～

発行：石巻市農業担い手センター（運営：一般社団法人イシノマキ・ファーム）

〒986-0204 宮城県石巻市北上町女川字泉沢13

TEL 0225-90-4748 FAX 0225-90-4749 MAIL info@noukajapan.com

www.noukajapan.com

